

2024



150th
ANNIVERSARY

100年後にも世界で走り続ける大学へ
漕ぎ出せ 混沌の海に
走れ 創造の彼方へ

広島大学 75+75周年記念事業・第80回広島大学総合博物館公開講演会

世界遺産

World Heritage Site

平成5年12月、「姫路城」、「法隆寺地域の仏教建造物」などが、日本で初の世界文化遺産として登録され、令和5年に30周年を迎えます。広島県では、平成8年12月、「厳島神社」、「原爆ドーム」が登録されています。世界遺産の取り組みについて、多くの大学生・市民等が学習する機会を創出することを目的として、本講演会を開催します。

日時:2024年1月20日(土)13:30~16:00

会場:広島大学教育学部 L104講義室

厳島神社 (撮影・新谷孝一)



講演1 演題「世界文化遺産の現在と未来」

講師 本中 眞 氏 (奈良文化財研究所所長)

1993年に京都大学にて博士(農学)を取得。日本庭園や文化的景観、遺跡の整備など広く造園学を研究。文化庁主任文化財調査官として、名勝及び世界文化遺産の保護に関する施策に携わってきたほか、内閣官房内閣参事官として、「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産保護の施策にも携わってきた。2021年から奈良文化財研究所 所長。著書・編者『日本古代の庭園と景観』(吉川弘文館、1994年)、『棚田学入門』(棚田学会編、勁草書房、2014年)、『世界文化遺産の思想』(東京大学出版会、2017年)など。



講演2 演題「世界文化遺産 厳島神社と石見銀山」

講師 秋山伸隆 氏 (県立広島大学名誉教授)

1953年生まれ。広島大学文学部・同大学院文学研究科で日本史を学ぶ。博士(文学)。広島大学文学部助手、広島文化女子短期大学助教授、広島女子大学助教授・教授を経て2005年4月より県立広島大学教授、2018年3月定年退職。県立広島大学では、宮島学センター長を8年間務めた。日本中世史、とくに戦国大名毛利氏と中国地方の地域史を研究。著書『戦国大名毛利氏の研究』(吉川弘文館、1998年)、論文「厳島合戦再考」(県立広島大学宮島学センター編『宮島学』所収、溪水社、2014年)など。

定員:60名
(先着順)

参加費:無料

申込方法:

博物館HP等に記載の参加申込フォームよりお申込みいただくか、ハガキにてお申込みください。記入事項(裏面)は①講演会名②名前(ふりがな)③住所④電話番号⑤メールアドレスを記入。

申込先・問い合わせ先:

広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門
〒739-8524広島県東広島市鏡山1丁目1-1特高受変電所内
電話:082-424-6198 E-mail:hmaibun@hiroshima-u.ac.jp

主催:  広島大学総合博物館
Hiroshima University Museum

参加申込フォーム

